

第 41 回土木計画学研究発表会（春大会）：2010. 6. 5～6（名古屋工業大学）

スペシャルセッション（SS）討議内容の記録

| | |
|-------------------------------------|---|
| セッション名：SS10 中央新幹線計画はどうすべきか？ | |
| 日付： 6月 5日（土）曜日，セッション時間： 13：00～14：30 | |
| オーガナイザー名（所属）：家田 仁（東京大学） | |
| 討 議 内 容 | <p>佐々木良氏（国交省）、宇野護氏（JR 東海）、村上清明氏（三菱総研）、井口裕之氏（長野県）からの話題提供（中央新幹線の計画経緯と超電導リニアの開発経緯、東海道新幹線にとっての中央新幹線、中央新幹線の国民的・国家的意味と課題、地域からみた中央新幹線への期待と課題）に引き続き、フロアを交えた約 30 分間の議論を行った。主な議論は以下の通り。</p> |
| | <p>1) 中央新幹線は、わが国の高速道路網が概成してからの初めての幹線鉄道プロジェクトであり、従来の鉄道とは異なるマルチモーダル型の計画が期待されるのではないかと？高速道路を用いた高速バスなどと、駅で十分な結節性を高めることにより、駅勢圏を大幅に拡大することができるのではないかと？</p> |
| | <p>2) 高齢社会・人口減少社会であるからこそ、国民のモビリティを高め、交流人口を増やすことにより国の活力を向上させる必要があるのではないかと？ また、わが国の人口の約半分を約 1 時間圏につなぐことにより、わが国の国際競争力を高めると共に沈滞傾向の関西経済のまき直しにも寄与しうるのではないかと？</p> |
| | <p>3) プロジェクトの実現時期を早めることがプロジェクトの効果を高める上で不可欠ではないかと？ そのためには、JR 東海の自己負担（+自治体による途中駅整備）という現在提案されている枠組みを超えて資金調達する方法を案出することが必要ではないかと？</p> |
| | <p>4) 中央新幹線プロジェクト単独の検討を超えて、全国の高速交通体系の見直しが必要ではないかと？</p> <p style="text-align: right;">以上</p> |